

令和3年度三重県沿岸種資源評価 カサゴ

資源水準・動向

低位・減少



生物情報

- ・産仔期は11～5月で、盛期は12～3月である。
- ・肉食性で甲殻類、棘皮動物、軟体動物、魚類などを捕食する。

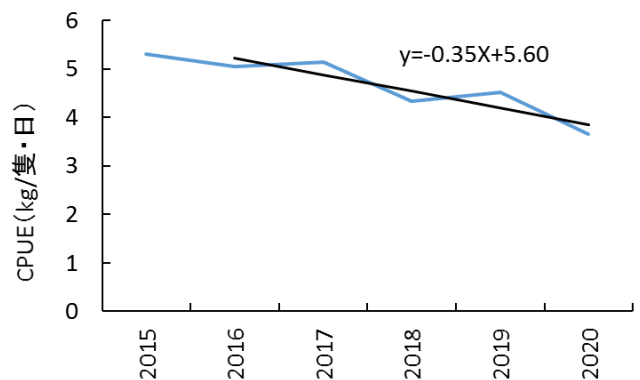
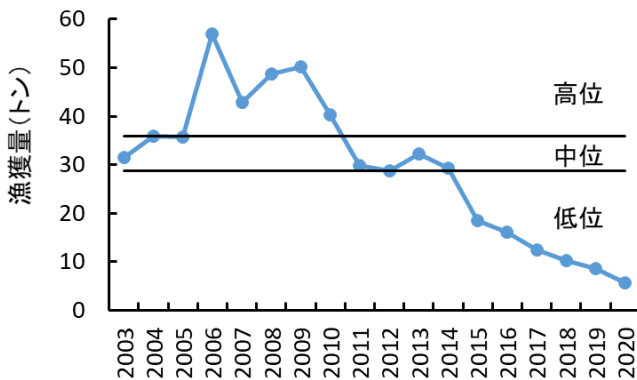
漁業の特徴

- ・伊勢湾～外海の沿岸域において、主に刺し網、延縄で漁獲される。
- ・漁獲量は鳥羽市答志地区で多く、三重県全体の3割程度が漁獲されていると考えられる。
- ・カサゴを狙った延縄(ガシ縄)は、かつては県内全体で広く操業されていたが、近年は操業が激減している。また、刺し網を営む漁業者も減少傾向にある。



資源状態

- ・鳥羽磯部漁協の漁獲量から資源水準は「低位」とした。
- ・鳥羽磯部漁協の答志支所の刺し網のCPUEから動向は「減少」とした。



資源管理の取組

- ・県内各地で刺し網の漁期制限および漁場制限が行われている。

将来考えられる資源管理の取組

- ・現状の漁獲圧は極めて低いと考えられるため、資源の減少は環境要因が大きいと考えられる。
- ・小型魚の保護や産仔直前の雌の保護が有効であると考えられる。